

令和8年度青森県立保健大学  
学校推薦型選抜（理学療法学科）

# 小論文試験問題

10:40～12:10（90分）

〈注意事項〉

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2 この問題冊子には、問題用紙が4ページあります。
- 3 落丁・乱丁がある場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。
- 4 解答用紙には、下記の記入例により **あなたの名字の頭2文字及び受験番号を忘れず**に記入してください。
- 5 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

〈解答用紙への記入例〉

（例1）

頭2文字	ス	ズ	（鈴木：スズキ）
------	---	---	----------

（例2）

頭2文字	ザ	イ	（財前：ザイゼン）
------	---	---	-----------

（例3）

頭2文字	キ	ツ	（吉川：キツカワ）
------	---	---	-----------

受験番号	2	1	3	0	0	1
------	---	---	---	---	---	---

## 令和8年度青森県立保健大学学校推薦型選抜 小論文試験問題

### 理学療法学科

問題 I 次の英文を読んで、後の問に日本語で答えなさい。（\*には注釈があります。）

Regular physical activity is proven to help prevent and manage noncommunicable diseases (NCDs)\* such as heart disease, hypertension\*, stroke\*, diabetes\* and several cancers. It also helps to maintain a healthy body weight and can improve mental health, quality of life and well-being\*. Physical activity refers to all movement. Popular ways to be active include walking, cycling, wheeling\*, sports, active recreation and play, and can be done at any level of skill and for enjoyment by everybody. Work such as household chores\* or jobs requiring physical labour\* is another way to be physically active.

Yet, current global estimates show 1 in 3 adults and 81% of adolescents\* do not do enough physical activity. Furthermore, as countries develop economically, levels of inactivity increase and can be as high as 70% due to changing transport patterns, increased use of technology for work and recreation, cultural values and increasing ①sedentary\* behaviour\*. Sedentary behaviour is periods of low energy expenditure\* such as sitting and watching TV. Both sedentary behaviour and inadequate levels of physical activity have negative impacts on health systems, the environment, economic development, community and individual well-being and quality of life.

Physical inactivity\* is one of the leading risk factors for noncommunicable diseases (NCDs) and death worldwide. Alternately\*, regular physical activity reduces risk of many types of cancer by 8-28%; heart disease and stroke by 19%; diabetes by 17%, depression\* and dementia\* by 28-32%. It is estimated that 4-5 million deaths per year could be averted\* if the global population was more active.

One in 4 adults and 4 in 5 adolescents don't do enough physical activity. Women and girls generally are less active than men and boys, widening health inequalities. Older adults and people living with disabilities\* are also less likely to be active and miss out on the physical, mental and social health benefits. Physical inactivity burdens society through the hidden and growing cost of medical care and loss of productivity.

（出典：World Health Organization. “Physical activity.” [https://www.who.int/health-topics/physical-activity#tab=tab\\_1](https://www.who.int/health-topics/physical-activity#tab=tab_1), [https://www.who.int/health-topics/physical-activity/#tab=tab\\_2](https://www.who.int/health-topics/physical-activity/#tab=tab_2)（参照日：2025/07/23）より抜粋。ただし、出題の都合上、文章の一部を省略・改変している。）

\* noncommunicable diseases (NCDs) 非感染性疾患

\* hypertension 高血圧

\* stroke 脳卒中

\* diabetes 糖尿病

\* well-being 幸福感

- \* wheeling 車椅子での移動
- \* labour labor のイギリス英語
- \* sedentary 座りがちな
- \* expenditure 消費
- \* alternately 一方で
- \* dementia 認知症
- \* disability 障害

- \* household chores 家事
- \* adolescent 青少年
- \* behaviour behavior のイギリス英語
- \* physical inactivity 身体活動の不足
- \* depression うつ病
- \* avert 回避する, 防ぐ

問1 本文の内容について、250字以上300字以内で要約しなさい。

問2 下線部①の定義と、それが社会のデメリットにつながる理由について、本文の内容を踏まえて100字以上150字以内で説明しなさい。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

今の日本には、「医療保険制度」があって、すべての国民は公的医療保険に加入し、保険料を納付する義務があるが、一定割合の自己負担で医療を受けることができる。

つまり、保険という社会全体でリスクをシェアする仕組みによって、病気やけがをした場合に、「誰でも」、「どこでも」、「いつでも」保険を使って医療を受けることができる。でも、もしこの制度がなかったらどうなるのだろう？

現在の自己負担額ではなく、医療費を全額支払う必要が生じる。若いうちはあまり病気にかからない人も多いので、全額自己負担でも問題ないと思う若者もいるかもしれない。しかし、図を見ると、一生涯でかかる医療費の平均は約 2,900 万円（令和4年度）だ。若いときに比べ、年齢が高くなるほど、年間の医療費は高くなる傾向がある。この金額を自分一人の責任で若いときから備えることができるだろうか。また、これは平均であるので、もしかしたら、若いうちに大きな病気にかかり、平均よりも多くの医療費がかかる事態に陥る人もいるかもしれない。

誰でも、いつ、どんな病気やけがに見舞われるかは想定できないので、あらかじめすべてのリスクに備えておくことは難しい。また、リスクを気にしすぎて、日々の生活を切り詰めたり、楽しみを控えたりしたものの、結局あまり病気にならなくてお金を使わなかったということも起こるかもしれない。しかし、このような医療保険制度があることにより、将来のリスクに社会全体で備えることができているのだ。

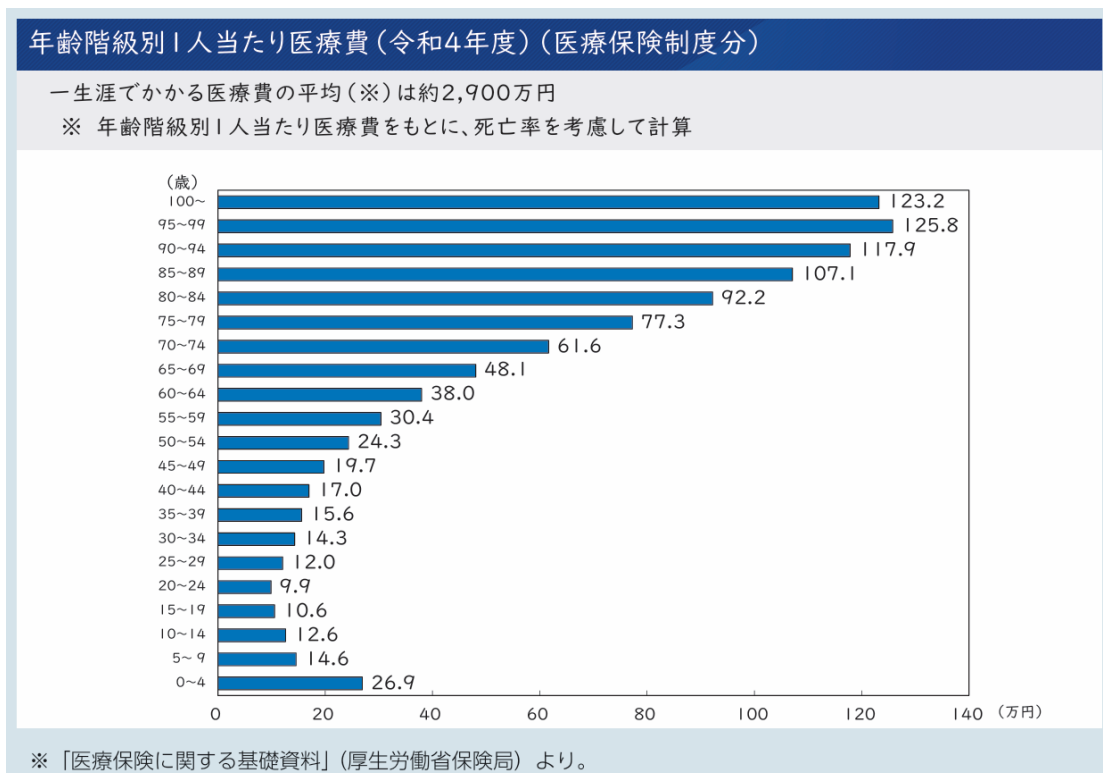


図 年齢階級別1人あたり医療費

(出典：厚生労働省「令和7年版厚生労働白書」p.17より引用。ただし、出題の都合上、文章及び図の

一部を省略・改変している。)

問1 本文及び図の内容を踏まえ、日本の医療保険制度の特徴について100字以上120字以内で説明しなさい。

問2 この図に示された医療費の推移を見ると、0歳から24歳(年代Ⅰ)では加齢に伴い医療費が減少、25歳から54歳(年代Ⅱ)では緩やかに増加、55歳以上(年代Ⅲ)では急激に医療費が増加している。

医療費を抑制するために、理学療法士として何ができるか。あなたの考えを250字以上300字以内で述べなさい。